

＜令和6年度 名東小学校の取り組みに関する学校評価のまとめ＞

本校の教育活動を振り返り、改善を図ることを目的として、職員・保護者・児童を対象にアンケートを行いました。ご協力いただき、ありがとうございました。今回は、その結果と学校の考えをお伝えします。

【回答】①あてはまる

②どちらかというにあてはまる

③どちらかというにあてはまらない

④あてはまらない

(%)

	内容	①	②	③	④
学校運営	(児) 楽しく学校に通っている。	68	26	5	1
	(職) 子どもたちが楽しく学校に通うことができるよう努めることができた。	65	35	0	0
	(保) お子さんは、楽しく学校に通っている。	52	41	6	1

職員の自己評価アンケートでは、子どもたちが楽しく学校に通うことができるよう努めてきたという回答が100%、保護者・児童のアンケートでも、肯定的な回答が90%を超える結果となりました。職員が一丸となり、子どもたちが楽しく通え、笑顔あふれる学校となるよう取り組んできた結果と考えます。一方で否定的な回答をした6～7%の子どもたち・保護者がいることは、課題です。本校における6～7%は、人数にして60～70人です。誰もが楽しく通えるようにきめ細かな指導が必要であると考えます。

保護者の皆様の声では、「転入してきましたが、とてもスムーズに子どもが学校になじむことができ安心しました。」や「毎日笑顔で通い、勉強が楽しい、先生も優しくおもしろい、と子どもがよく話します。」という声をいただきました。今後も子どもたちの笑顔あふれる学校となるよう取り組んでまいります。

(考察)



	内容	①	②	③	④
家庭・地域と連携した学校づくり	(職) 保護者からの相談を真摯に受け止め、適切に対応することができた。	47	51	2	0
	(職) 学校からの便り（学校、学年だより・ホームページ等）は、保護者に、必要な情報や子どもの姿を分かりやすく伝えている。	40	51	7	2
	(保) 学校は、ホームページ・各種たよりの配信等で、学校の取り組みや子どもの様子を分かりやすく伝えている。	30	52	15	3
	(保) お子さんは、家で学校での様子をよく話している。	33	43	19	5
(考察)	家庭・地域と連携した学校づくりについて、職員の自己評価アンケートでは、保護者の方からの相談に真摯に対応しているという肯定的な回答が90%を超える結果となりました。保護者の方からの相談を受け、互いに連携を取りながら、教育活動に取り組むことができていると考えます。 また、学校ホームページについては、保護者の皆様の声の中に、「学校の様子がよりよく伝わるようにしてほしい」「ホームページが更新されていない」というご意見をいただいています。ホームページの掲載内容等を検討し、適宜更新していきたいと思います。				
	内容	①	②	③	④
学習指導	(児) タブレットを使った学習は分かりやすい。	62	28	7	3
	(保) お子さんは、授業が分かりやすいと言っている。	21	58	18	3
	(児) 学校の授業は分かりやすい。	61	34	4	1
	(職) ICTを効果的に活用して、分かりやすい授業を工夫することができた。	21	60	19	0
(考察)	今年度も職員は、授業後の時間を使って、タブレット端末の活用について学習会を行っています。昨年度よりも様々な場面で活用し、分かりやすい授業を目指しています。その結果、児童アンケートでは、「タブレットを使った学習は分かりやすい」という設問に対する肯定的な回答が90%となりました。学習したことのまとめをプレゼンテーションソフトで作成して発表したり、苦手な学習分野をAIドリル（キュービナ）で復習したりするなど、個別最適な学びにもつながっています。 一方で保護者アンケートでは、「お子さんは授業が分かりやすいと言っている」の設問に対して、否定的な回答が21%となりました。子どもたちが「分かった」・「できた」と実感できるような授業を目指して取り組んでいく必要があると考えます。				

	内容	①	②	③	④
自律して学ぶ児童の育成 (学校努力点)	(児)クラスの子と協力している。	64	31	4	1
	(職)「ゆるやかな協働性の中で自律して学び続ける児童の育成」のために、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指した授業づくりに取り組んでいる。	29	58	13	0
	(保)学校は、子どもが自律して学び続ける力を育むように、子どもの興味・関心を高める授業づくりや自己選択・自己決定しながら学ぶ授業づくりに努めている。	16	66	16	2
	(保)学校は、子どもが多様な人と学び合うことができるように、出前授業や校外学習、異学年交流等に努めている。	25	53	18	4
(考察)	今年度の本校の学校努力点は、「ゆるやかな協働性の中で自律して学び続ける児童の育成～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指して～」というテーマで取り組んで参りました。これまでの本校の取り組みを生かし、ICTを活用した個別最適な学びと、仲間と協力したり、外部の方との連携したりすることを通じた協働的な学びを追究してきました。 職員アンケートの結果では、努力点のテーマに迫る授業づくりに取り組めたという肯定的な回答が80%以上となりました。また、保護者アンケートの結果も同様に、80%以上の肯定的な回答となりました。 タブレット端末の活用により、これまで、子どもたちが紙と鉛筆で考えをまとめたり、表現したりしていたものが、タブレット端末を活用して、図や言葉、写真で表現することができるようになり、自分に合った方法を選んで学習に取り組むことができるようになりました。また、仲間との協働を大切にしてきたことで、相手の異なる考えを受け止めて、自分の考えを見直したり、外部の方の話を聞いて、新しいことを知るきっかけとなったりしました。今後も、よりよい授業の追究を目指して、取り組んで参ります。				
					

	内容	①	②	③	④
へ気持ちのよい挨拶ができ、思いやりの心を育てる集団づくり 心身共に健全な児童の育成	(児) 友達と仲良くしている。	81	16	2	1
	(児) きまりや約束を守っている。	65	30	4	1
	(職) 子どもたちが、きまりを守り友達と仲良く学校生活を送ることができるような指導に努めることができた。	58	35	5	2
	(保) お子さんは友達と仲良くしている。	56	40	4	0
	(児) ★進んで挨拶をしている。	52	31	14	3
	(職) ★子どもたちが、進んで挨拶ができるような指導に努めることができた。	49	44	7	0
	(保) ★お子さんは、家や地域で進んで挨拶ができています。	22	50	24	4
	(児) 係や当番、委員会の仕事を頑張っている。	72	25	2	1
	(職) 子どもたちが主体的に行動できるよう、係活動や委員会活動を推進することができた。	57	40	3	0
	(職) 子どもたちの思いやりの心を育てるために、ペア活動やクラブ活動などの異学年交流を活発に行うことができた。	41	49	10	0
(考察)	児童アンケートでは、「友達と仲良くしている」、「きまりや約束を守っている」の設問について、肯定的な回答が90%以上となりました。また、挨拶についても同様の回答となりました。職員アンケートの結果と合わせて考えると、日頃の指導の成果と考えられます。 保護者アンケートでは、「廊下ですれ違うとどの先生にも挨拶をしてくださり、すてきだなと感じます。子どもたちもそのような姿を子どもたちがいつも目にすることで、自然とできるようになっていると思う。」というご意見をいただきました。これまで、挨拶については、本校の課題であり、改善に向けて粘り強く取り組んできました。その成果が表れていると感じます。来校される保護者の方も挨拶をしていただき、上記にもありますが、そのような大人の姿を見て子どもたちは、学ぶと考えます。子どもたちの良き手本となるよう、保護者・地域と連携をしながら取り組んでいきます。 仲間との協力する力を育てる・思いやりの心を育む機会として学級の係活動や異学年交流としてペア活動や高学年の委員会・クラブ活動を行っています。その成果として、子どもたちは、仲間と協力して取り組むことができました。 課題として、クラブ活動の回数が少ないというご意見をいただいています。学習内容も増えていて、中々回数を大幅に増やすことは難しい状況ですが、異学年交流による子どもたちの成長は、大変大きいと感じています。実施回数について、検討をしていきます。				

	内容	①	②	③	④
〽子どもが安心・安全な居場所と感じるような学校づくり〼 心身ともに健全な児童の育成	(児) 教室にいと安心できる。	52	40	7	1
	(職) 日々の学級指導、「名東すまあとデー」の取り組みや教育相談などを通して、子どもたちが安心・安全な居場所とを感じるような学校づくりに努めることができた。	40	57	3	0
	(保) 学校は、「名東すまあとデー」や ING キャンペーン、心の教育等を通して、子どもが安心・安全な居場所とを感じるような学校づくりに努めている。	22	64	12	2
	(職) 安全点検等で危険箇所の把握は適切に行われ、危険箇所の除去・環境整備を速やかに行うことができた。	65	33	2	0
	(保) 学校は、オートロック・防犯カメラ設置・保護者用名札更新等、安全な環境整備に努めている。	43	50	6	1
	(職) 避難訓練・防犯訓練・交通安全教室等を通して、子どもが自ら命を守ることができるよう指導することができた。	56	42	2	0
	(保) 学校は、避難訓練・謀判訓練・交通安全教室等、子どもの命を守るための指導を適切に進めている。	44	51	5	0
(考察)	児童アンケートでは、安心できるとの回答が約 90% という結果となりました。今年度も、全校児童を対象にした年 2 回の教育相談や毎月あいさつについて考え取り組む「名東すまあとデー」を行ってきている成果と考えます。学級担任は、子どもたちの様子を捉えながら適宜個別に相談も行っています。そういった、日々の取り組みが、安心できる学校につながっていると考えます。 「教室にいとあまり安心できない」「安心できない」という回答をしている子どもが昨年よりも減少しました。しかし、8% いることも忘れていません。誰もが、安心できる学校となるよう努めていきます。 安全な学校とするために、毎月、本校職員は、「安全点検」を行い、危険箇所や破損箇所がないか調べています。見付けた危険箇所は、用務員が素早く修繕をしています。こういった職員の取り組みの成果が、アンケート結果にもつながっていると考えます。 また、今年度は、防犯訓練と交通安全教室の充実に取り組みました。実践的な防犯訓練により、校内に万が一不審者が侵入した際の身の守り方を、職員も子どもたちも学ぶことができました。4 年生を対象とした自転車の安全な乗り方を学んだ交通安全教室も、児童が自分の命を守るための行動を学ぶ機会となりました。来年度も継続して取り組んでいきます。				



	内容	①	②	③	④
心身ともに健全な児童の育成 〈進んで運動に親しみ、健康の維持増進に務める習慣づくり〉	(児) すすんで運動している。	67	22	8	3
	(児) 体育発表会や行事などに進んで参加している。	78	18	2	2
	(児) 食事や安全に気を付けて過ごしている。	74	23	2	1
	(職) 給食指導では、食物アレルギーへの対応を適切に進めることができた。	70	30	0	0
	(職) 養護教諭と連携し、病気やけがへの対応を適切に行うことができた。	72	28	0	0
	(保) 学校は、子どものけがや病気、食物アレルギーなどに適切に対応している。	48	48	3	1
(考察)	体力向上の点については、児童アンケートのみとなりますが、進んで運動しているとの回答が89%となり、昨年度の結果より4%アップしました。昨年度は仮設校舎により運動場が半分しか使えませんでした。その弊害もない今は、休み時間は外で元気に遊ぶ子どもたちの姿が多く見られます。また、今年は、学級の団結と体力向上をねらい、長縄大会を1月に体育委員会の企画で行いました。寒さに負けず、大縄に楽しく取り組むことができました。 体育発表会などの行事には、90%以上の子どもが進んで参加していると回答していることから、今後も子どもたちが伸び伸びと体を動かせる環境づくりに努めていきたいと思います。 保護者アンケートでは、「造形作品展が数年続いています。別の行事も検討していただきたい」という声をいただきました。学習内容の増加や新しい教育の推進など、学校における指導内容が増えている状況では、学芸会などの劇に全校で取り組むことが難しいのが現状です。来年度については、普段の学習を生かし、児童が学んだことを発表できる行事を計画していきます。				



	内容 ★印は、今年度の重点項目に関連した内容	①	②	③	④
その他	(保) お子さんは、家で掃除や手伝いなどを進んでしている。	14	41	38	7
	保護者アンケートでは、ご家庭で、お子さんが掃除や手伝いを進んで行っていますかという質問に対して、あまりできていないという回答が40%を超える結果となりました。掃除の時間の子どもたちの様子を見ていると、雑巾をうまく絞れなかったり、掃除を面倒と感じて他ごとをしていたりする姿が見られることがあります。学校評議員会でも、学区の方から、「子どもたちが掃除を自分から行う姿が、少し減っているように感じる。大人が指示をすることでもできることも多いが、どこをどのように掃除するとよいか考えられるようになるとよいと思います。また、掃除を何のために行うのかを意識させることも大切だと思います」というご意見をいただきました。 学校でも清掃指導として、清掃道具の使い方を指導するとともに、清掃をなぜ行うのかも指導しています。基本は、「自分が使ったもの・場所は、自分で」という考え方が大切であると考えます。清掃活動は、皆で協力して行うという視点も含まれる大切な教育活動ですが、ご家庭でも、お子さんが自分で片付けをしたり、家族の一員として家族のためにお手伝いをしたりする場面をつくったりしていただけると、お子さんの成長へとつながります。				